

## 様式第2号(第7条関係)

## 会議録

会議の名称	第2回 川島町環境保全審議会並びに川島町廃棄物減量等推進審議会会議録			
開催日時	令和5年3月22日(水)午後1時56分から3時45分まで			
開催場所	川島町役場 2階 中会議室			
議事	(1) 川島町環境総合計画における取組状況について (2) 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)における取組状況について (3) その他			
公開・非公開の別	公開(傍聴者なし)			
出席者	委員	野澤 正弥・谷島 義明・野村 尚男・片山 博文・堀田 泰弘・後藤 真太郎・鈴木 貞美・堀口 郁子・菊池 建太・鈴木 健・飯島久美子・瀬間 さやか・佐藤 菊江・鈴木 克久・笠井 貴志 計15名		
	事務局職員	町民生活課 課長 伊原 同 生活環境グループ 主幹 阿泉・主査 遠山 同 ごみ処理施設整備推進室 主幹 岡部 同 施設管理グループ 主幹 横山・主査 岩野		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・広域化協議の経過及び新ごみ処理施設建設候補地地元対応経過について</li> <li>・令和5年度川島町一般廃棄物処理実施計画(案)</li> <li>・環境基本計画の概要について(資料1-1)</li> <li>・「川島町環境基本計画」に基づく令和4年度施策の進捗状況について(資料1-2)</li> <li>・環境基本計画における令和4年度の主な取組実績に対する評価について(資料1-3)</li> <li>・川島町地球温暖化対策実行計画《事務・事業編》(資料2-1)</li> <li>・令和4年1月～11月エネルギー使用量および令和3年4月～11月との比較(資料2-2)</li> <li>・和4年4月～11月エネルギー使用量が前年度同時期より増加したものについて、その理由(施設別)(資料2-3)</li> <li>・各局室における地球温暖化対策新規の取組状況について(資料2-4)</li> <li>・川島町地球温暖化対策実行計画《事務・事業編》職員の取組報告(資料2-5)</li> </ul>			
審議会の内容・概要				
1 開会 2 会長あいさつ 3 報告事項 各種報告事項について (新ごみ処理施設関連・令和5年度一般廃棄物処理実施計画の報告) 4 議事				

(1) 川島町環境基本計画に基づく令和4年度施策の進捗状況について

事務局より、環境基本計画の概要について（資料1-1）、「川島町環境基本計画」に基づく令和4年度施策の進捗状況について（資料1-2）、環境基本計画における令和4年度の主な取組実績に対する評価について（資料1-3）について説明。

《質疑応答》

- 委員 猫の避妊手術について、病院は決まっているのですか？  
事務局 この付近では、上尾市の堀動物病院が指定病院になっています。  
委員 役場で手続きするのですか？  
事務局 申請者は町に申請、町はどうぶつ基金からチケット交付を受け、申請者に渡します。申請者は指定病院で避妊手術を受けさせ、町を経由してどうぶつ基金に報告します。  
委員 以前家に住み着いた猫の避妊手術をしたら高額でした。町で制度を積極的にPRしたほうがよいと思います。  
委員 アライグマ捕獲頭数が、目標をはるかに超えています。アライグマの害には、困っている方も多いそうです。来年度の目標は上げるのですか？  
事務局 目標値は、予算計上した処理費用が何頭分かを基に設定します。  
委員 アライグマの捕獲は、誰が行うのですか？  
事務局 町で申請者に檻を貸し出し、捕獲されたら町で委託した業者が回収します。  
委員 アライグマは最終的に撲滅を目指すのですか、増えたら処分を繰り返す態勢ですか？  
事務局 農業被害防止を優先としているので、頭数を減らすことを主としています。  
委員 アライグマは、国で特定外来生物に指定されています。本来は国内においてはいけない生物であり、県では10年計画で、対策を講じています。現在比企地域は、捕獲頭数が増加しています。  
委員 素人に檻を貸し出して設置させても、効果があるのかわかりません。アライグマは、人の気配を感じると、来なくなるのではないでしょうか。本気でなくすのであれば、予算の問題もあるでしょうが、一気に頭数を減らす策を講じないと、イタチごっこがいつまでも続く気がします。専門家にアドバイスを求めてはどうでしょう。  
委員 アライグマの捕獲頭数は、オリによる捕獲がほとんどですか？  
事務局 町で檻を貸し出し、捕獲した頭数になります。  
委員 自分も檻を設置しますが、意外に捕獲できます。個人で檻を持っている方もいて、皆一生懸命つかまえようと努力している状況です。  
委員 埼玉県内東上地域の大学では、「T J U P」という連携協定を結んでいます。その中に生物の専門家もいるので、地域交流員会に相談してみてはどうでしょう。  
委員 達成度評価について、目標に対し80%以上達成していれば「概ね達成」となっていますが、民間では目標に達していないと、達成していない扱いとなります。  
事務局 他町村でも色々な評価方法をつくっていますが、80%を一つのボーダーにしている自治体が多かったので、それを参考にしました。改善の余地はあると思うので、今後は変化をつけ、より良いものをつくりていきたいと思います。  
委員 アウトカムが設定しにくかったということですが、変えたものは

ありますか？

事務局　学校教育について、指導要領で授業として位置づけられている「総合的な学習」のように、主導して行うかたちでないものは、評価しづらいとの声がありました。そこで、子どもたちがその中で環境の教育を受けていれば、評価のポイントになるとの変更を行いました。

委員　SDGsには、17種類のゴールがあります。それらと一緒にやつていかないと、相互の連携をとれない部分もあります。「つくる責任、使う責任」という項目がありますが、つくる側でエネルギー利用率を減らし、使う側で市民活動により省電力の努力をすることなどを組み合わせてはどうでしょうか。

#### 【議事1について承認】

(2) 川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）における進捗状況について  
事務局より、川島町地球温暖化対策実行計画《事務・事業編》（資料2-1）、令和4年1月～11月エネルギー使用量および令和3年4月～11月との比較（資料2-2）、令和4年4月～11月エネルギー使用量が前年度同時期より増加したものについて、その理由（施設別）（資料2-3）、各局室における地球温暖化対策新規の取組状況について（資料2-4）、川島町地球温暖化対策実行計画《事務・事業編》職員の取組報告（資料2-5）について説明。

#### 《質疑応答》

委員　このような対策を先導する役目の職員は必死ですが、そうではない職員の中には、「どうでもいい」という考え方の者もいるのではないかでしょうか。意識の改革は、何度も繰り返し言わないと、定着しないと思われます。また、文章では行動していると出してきても、実際には行動しない場合もあります。自分で金を払っているとの気持ちを持たないくらいでないと、無駄は減らせないでしょう。事務局としては、少しの増加については大目にみて、大きな増加を問題とするなど、ある程度ゆるやかにしてはどうでしょう。どんどん厳しくしていくと、反発からいい加減に振る舞う者が出てきます。

委員　新型コロナウイルス感染症の対策が今後なくなつた場合どうするかについて、資料には入っていません。施設を使わなかつた時期との対比というのも、疑問に思います。ペーパーを少なくする、エコカーにする程度のことは、普通の対策です。町は、むしろ率先して、対策を進めるべきでは。個々の職員に削減を求めて、限界があると思われます。5時までの役場の業務を3時に短縮するくらいの改革を進めなければ、目標は達成しないのではないでしょうか。

委員　「ゼロボード」という、CO<sub>2</sub>排出量の管理を行うソフトウェアがあります。そのソフトには削減策は出てきませんが、これをもとに活動を把握し、現実的にCO<sub>2</sub>をどのくらい減らすか、無駄な要素をなくすか、エネルギーを使うところは使って健康面に配慮した施設管理をしてはどうでしょう。トップダウンで「減らせ」と言っても、無理があります。これからは、活動のニーズ性をみて、数値を評価していく動きになるのではないでしょうか。また、対策として効率の良い電気の供給を選択する方法も、限られています。カーボンなどに関連し他国との連携など、新しい企画をすることもあるでしょうが、そんなに多くはできないと思います。1本スジを通して、ここまで削減する、そのためには何をすればよいかを考え、何をやるべきか絞り込んで

みてはどうでしょう。

委 員 平成28年度のエネルギー使用量というのは、新庁舎になってからものでしょうか。

事務局 そのとおりです。

委 員 各事業所のデータを令和3年度と比較していますが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中で、単に比較するのは考えなくてはいけないと思われます。新型コロナウイルス感染症対策で、電気使用量の多くなった子どものための施設が多数あります。そういう施設では今、夜遅くまで職員が働いているようですが、電気などの消費につながっていると思います。働き方改革を推進していけば、今後電気使用量は減っていくのではないかでしょうか。撮影が入ったという旧小学校2校での電気使用量が、一方は増加し一方は減少したというのは不思議です。

委 員 町庁舎のエネルギー使用量について、職員の行動により削減するか関連を見出しにくいです。庁舎内での個々の職員の新規の取り組みや行動変容を数値化して、CO<sub>2</sub>に変換してフィードバックするようななかたちにしてはどうでしょう。

事務局 職員の行動は、町施設の電気使用量などを集計する中で、数値として反映されます。また、施設について、町民体育館やコミュニティセンターなどの照明のLED化を進めている状況です。また、給食センターについては、施設を重油使用からLPG使用に改修したこと、温室効果ガス排出量が大きく減少しました。

委 員 町職員を対象にした《事務事業編》はありますが、町内編はないのですか。

事務局 現在のところ、町内全体を対象にした《区域施策編》はつくっていません。

委 員 数年前のごみ削減事業では、役場で率先して行ったことで、町民もごみを減らす意識づくりができました。

委 員 町内編も早急につくってほしいです。自分だけでも、省エネ対策をしたいと思います。民間では温室効果ガス削減対策は当たり前という厳しい意見に、行政と民間の差を感じました。

委 員 個々の職員の行動変容による具体的な行動で、どのくらい庁舎の電気使用量が減ったかがわかれば、職員の意識と連携していくのではないでしょうか。また、マイボトルの使用やりサイクルの推進などは町施設の電気使用量の削減にはなりませんが、CO<sub>2</sub>を減らすライフサイクルアセスメントという行動につながり、よい結果になると思います。

委 員 給食センターなどエネルギー使用量が削減されていますが、そこ以外は電気使用量以外も増えているように見えます。データの比較対象として、新型コロナウイルス感染症の影響が強く出ている時期の数値比較では、うまくいっていないのかわかりづらいです。コロナウイルスの拡大前の数値とも照らし合わせないと、電気使用量以外の使用量が増えているという情報が隠れてしまうかもしれません。また、町施設照明のLED化について、すべてをLED照明に変えるしかないでしょう。その場合、未改修数を把握し、スケジュールを決めて行えば、進捗状況が早くなるのではないかでしょうか。

委 員 町民では補助制度に関する情報が薄いですが、企業ではそのあたりの情報には敏感で、目ざといところを見に行くなどしています。国

で補助を行う場合、申請の根拠、補助金を交付する前と後の比較データ化して聞かれるのではないかと思います。LED化前の電気使用量と、LED化後の使用量の比較をデータ化しておくべきだと思います。また、町民、とくに町内の事業主などに対して、エネルギー使用削減に協力すればキャッシュバックがあるなどの制度について、広報に載せるなどしてはどうでしょうか。そうすれば、町民の取り組みにつながっていくと思います。

委員 個々の町民がどのくらい電気使用量を控えたのかわかるアプリがあると、記憶しています。事業所ではどうでしょうか？

委員 ゼロボードで計算できます。他にも、色々なソフトが開発されていると思います。

委員 T J U P に相談していただければ、ソフトがつくれるかもしれません。

委員 町施設の整備計画をとり入れた計画をつくり、各課局室の取組状況を全職員に周知できるようにすればよいのではないですか。

#### 【議事 2 について承認】

#### 5 その他

事務局より、出席に伴う報酬の振込について説明。

次年度会議について、2回、今年度と同時期の開催予定であることを説明。

委員のうち区長職2名について、次年度は新区長に交代する予定であることを説明。

#### 6 閉会

署名	野村 尚男 
	片山 博文 